

## 2022年7月度 高島屋営業報告

2022年3月から「収益認識に関する会計基準」を適用しておりますが、営業報告で開示する売上高につきましては、従来の基準（総売上高）で開示しております。

### 〔売上高 総計〕

		(前年比 単位:%)	
(株)高島屋 計 <sup>※1</sup>	+11.6	(株)高島屋 および 国内百貨店子会社 計	+11.1

### 〔店舗・事業部別 概況〕

				(前年比 単位:%)	
		売上高	入店客数	売上高	入店客数
大阪店	+10.7	+18.9	大宮店	+0.3	+2.7
堺店	△1.4	+3.0	柏店 <sup>※2</sup>	+3.2	+1.7
京都店 <sup>※2</sup>	+3.3	+2.3	(株)高島屋 各店計	+11.0	+6.8
泉北店	△3.9	△7.1	岡山高島屋	+11.2	+1.0
日本橋店	+8.6	+14.4	岐阜高島屋	△3.1	△1.1
横浜店 <sup>※2</sup>	+13.1	+6.2	高崎高島屋	+6.2	△0.4
新宿店	+33.4	+18.3	(株)高島屋 各店 および 国内百貨店子会社 計	+10.5	+6.4
玉川店	+13.3	+0.7	法人事業	+39.7	
立川店	△4.4	△4.9	クロスメディア事業	△3.5	

※1. (株)高島屋の売上高は、(株)高島屋各店、法人事業、クロスメディア事業を含みます。

※2. 京都店は「洛西店」、柏店は「タカシマヤ フードメゾン おおたかの森店」、横浜店は「タカシマヤ フードメゾン 新横浜店」の売上高をそれぞれ含みます。

### 〔商品別売上高〕

				(前年比 単位:%)		
		(株)高島屋	(株)高島屋 および 国内百貨店子会社	(株)高島屋	(株)高島屋 および 国内百貨店子会社	
衣料品	+15.9	+15.7	食料品	+0.5	+0.4	
紳士服・洋品	+14.3	+13.9	生鮮食品	△6.6	△6.6	
婦人服・洋品	+18.7	+18.5	菓子	+7.6	+7.2	
子供服・洋品	+5.9	+5.3	惣菜	+0.5	+0.3	
その他衣料品	+4.2	+4.5	その他	△1.9	△1.6	
身のまわり品	+33.9	+31.4	食堂・喫茶	+26.6	+26.3	
家庭用品	+0.3	+0.3	雑貨	+11.0	+11.3	
家具	+0.0	△0.0	化粧品	+13.2	+13.1	
家電	+16.5	+18.0	美術・宝飾品・貴金属	+6.4	+7.3	
その他家庭用品	△1.9	△1.9	その他	+25.1	+23.7	
				サービス	+15.5	+15.8
				その他	△4.2	△4.0
				合計	+11.6	+11.1

○7月度の店頭売上は、新型コロナウイルスが感染拡大したものの、高額品をはじめ消費意欲は堅調であったことから、前年実績を上回りました。

店頭売上	前年比 +10.5%	2019年比 △6.8%	2018年比 △8.0%
免税売上	前年比 +153.2%	2019年比 △57.3%	2018年比 △57.5%
免税を除いた店頭売上	前年比 +8.6%	2019年比 △3.1%	2018年比 △4.4%

※今後、2019年比に同年10月の増税影響が生じるため、今月より2018年比を記載しております。

○法人事業は大口計上により、前年を上回りました。クロスメディア事業は、前年実績を下回りました。

○8月の店頭売上は、14日までの累計で前年比+18.9%（2019年比△13.4%）、免税売上は前年比+174.2%（同△40.8%）、免税を除いた店頭売上は前年比+15.4%（同△11.2%）で推移しています。